

研究科目一覧

英語学概論
Outline of English Phonetics
英語音声学
英語音韻論
英語統語論Ⅰ・Ⅱ
英語意味論
現代英文法
英語語法研究
Introduction to English Sentence Structures
英語構文研究
Ways of Learning English
英語習得法
第二言語習得研究
Issues in Second Language Acquisition
Introduction to Discourse Analysis
英語談話分析
Introduction to Language and Communication
Issues in Applied Linguistics
Topics in Sociolinguistics
TESOL(英語教授法)海外研修
教育英文法基礎
外国語評価法
英語史
古期中期英語
日英語対照研究
認知発達と英語教育
児童英語教育論
児童英語指導法(Reading & Writing)
児童英語指導法(Listening & Speaking)
児童英語教育実習(船橋)、(沖縄)
児童英語海外実習(アメリカ)、(ニュージーランド)
中国語学概論Ⅰ・Ⅱ
中国語文法論Ⅰ・Ⅱ
中国語語彙論Ⅰ・Ⅱ
中国語音韻論Ⅰ・Ⅱ
中国語音声学Ⅰ・Ⅱ
中国語史Ⅰ・Ⅱ
日中比較言語Ⅰ・Ⅱ
広東語Ⅰ・Ⅱ
福建語Ⅰ・Ⅱ
韓国語学概論Ⅰ・Ⅱ
韓国語文法論Ⅰ・Ⅱ
日韓対照言語研究Ⅰ・Ⅱ
韓国語学特講Ⅰ・Ⅱ
韓国語社会言語学Ⅰ・Ⅱ
韓国語文章表現法
韓国語意味論
韓国語史Ⅰ・Ⅱ
東南アジア言語概論Ⅰ・Ⅱ
スペイン語学概論Ⅰ・Ⅱ
スペイン語音声学Ⅰ・Ⅱ
スペイン語の歴史と地理Ⅰ・Ⅱ
日西語対照研究Ⅰ・Ⅱ
商業スペイン語Ⅰ・Ⅱ
ポルトガル語学概論Ⅰ・Ⅱ
Japanese Language and CultureⅠ・Ⅱ
日本語学概論
日本語学Ⅰ・Ⅱ
日本語学特論
日本語教育概論
日本語教授法
日本語教育実習

ジャーナリズム論Ⅰ・Ⅱ
Media and Japanese Society
メディアリテラシー
メディア研究法Ⅰ・Ⅱ
ウェブデザインⅠ・Ⅱ
メディア表現論Ⅰ・Ⅱ
ソフトウェアデザインⅠ・Ⅱ
グラフィックデザインⅠ・Ⅱ
日本語表現法Ⅰ・Ⅱ
社会言語学Ⅰ・Ⅱ
心理言語学
応用言語学
意味・語用論
言語学特別研究
言語哲学Ⅰ・Ⅱ
西洋古典概論Ⅰ・Ⅱ
Public Speaking
Debate
Small Group Communication
日米コミュニケーション論
英語オーラルインタープリテーション
英語説得コミュニケーション論
日英翻訳法Ⅰ・Ⅱ
英日翻訳法Ⅰ・Ⅱ
英語通訳法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
英語映像翻訳法
コミュニティー英語通訳法
Theories of Translation and Interpreting
通訳・翻訳理論(英語)
通訳演習(a)・(b)(通訳・翻訳課程のみ履修可能)
翻訳演習(a)・(b)(通訳・翻訳課程のみ履修可能)
ビジネス中国語Ⅰ(a)・Ⅰ(b)
ビジネス中国語Ⅱ(a)・Ⅱ(b)
中国語通訳法Ⅰ(a)・Ⅰ(b)
中国語通訳法Ⅱ(a)・Ⅱ(b)
韓国語映像翻訳法Ⅰ・Ⅱ
スペイン語圏マス・コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ
スペイン語スピーチ・コミュニケーションⅠ・Ⅱ
スペイン語通訳法Ⅰ・Ⅱ
スペイン語翻訳法Ⅰ・Ⅱ
スペイン語映像翻訳法Ⅰ・Ⅱ
コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ
異文化コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ
組織コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ
メディア・コミュニケーション表現Ⅰ・Ⅱ
デジタル・メディアとコミュニケーションⅠ・Ⅱ
メディア文化論Ⅰ・Ⅱ
非言語コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ
対人コミュニケーション論
Leadership CommunicationⅠ・Ⅱ
国際ビジネス・コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ
日本語プレゼンテーション
日本語ディベート
日本語スモールグループ・コミュニケーション
コミュニケーション論特講Ⅰ・Ⅱ
レトリカルコミュニケーション論
多文化社会コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ
多様性とコミュニケーションⅠ・Ⅱ
通訳・翻訳への招待
日中通訳法Ⅰ・Ⅱ
日韓・韓日通訳法Ⅰ・Ⅱ
デジタル・メディアと社会Ⅰ・Ⅱ

プログラミングⅠ・Ⅱ
英文学史Ⅰ・Ⅱ
米文学史Ⅰ・Ⅱ
Survey of American Literature
英文学講義Ⅰ・Ⅱ
米文学講義Ⅰ・Ⅱ
Themes in American Literature
英文学研究Ⅰ・Ⅱ
米文学研究Ⅰ・Ⅱ
米国文化論Ⅰ・Ⅱ
米国文化原書講読Ⅰ・Ⅱ
中国思想概論Ⅰ・Ⅱ
中国文化概論Ⅰ・Ⅱ
中国文学概論Ⅰ・Ⅱ
中国文学史Ⅰ・Ⅱ
中国古典講読Ⅰ・Ⅱ
中国近世文学研究Ⅰ・Ⅱ
中国近代文学研究Ⅰ・Ⅱ
中国現代文学研究Ⅰ・Ⅱ
韓国文化概論Ⅰ・Ⅱ
韓国の宗教・社会Ⅰ・Ⅱ
韓国文化特定研究Ⅰ・Ⅱ
韓国映像文化論Ⅰ・Ⅱ
韓国現代文学研究Ⅰ・Ⅱ
インドネシアの文化・芸術
インドネシアの民族・地理
ベトナムの文化・芸術
ベトナムの民族・地理
タイの文化・芸術
タイの民族・地理
東南アジアの宗教と文化Ⅰ・Ⅱ
スペイン文学史Ⅰ・Ⅱ
スペイン文化研究Ⅰ・Ⅱ
現代スペイン文学Ⅰ・Ⅱ
現代ラテンアメリカ文学Ⅰ・Ⅱ
ラテンアメリカ文学特殊研究Ⅰ・Ⅱ
ラテンアメリカの文化と文学
スペイン美術史Ⅰ・Ⅱ
ブラジルの文化・芸術
ブラジルの宗教・社会
日本文化論Ⅰ・Ⅱ
日本近代思想史Ⅰ・Ⅱ
日本倫理思想史Ⅰ・Ⅱ
日本の宗教Ⅰ・Ⅱ
日本美術史Ⅰ・Ⅱ
日本芸能史Ⅰ・Ⅱ
日本文学論Ⅰ・Ⅱ
日本大衆文化論
Tourism and Local Cultures of Japan
Japanese Religions
The Literatures of Japan
Japanese Popular Cultures
民族と文化Ⅰ(a)・Ⅰ(b)
民族と文化Ⅱ(a)・Ⅱ(b)
文化について考える
比較文明論Ⅰ・Ⅱ
比較思想Ⅰ・Ⅱ
比較文学概論Ⅰ・Ⅱ
日英比較文化論Ⅰ・Ⅱ
日米比較文化論Ⅰ・Ⅱ
日米比較教育論
民族・宗教問題研究

キリスト教文化論Ⅰ・Ⅱ
イスラム文化論Ⅰ・Ⅱ
文化心理学Ⅰ・Ⅱ
スポーツ文化論Ⅰ・Ⅱ
文化人類学概論Ⅰ・Ⅱ
文化人類学研究Ⅰ・Ⅱ
身体運動文化論
健康科学論
人権論
ジェンダー論
アート・マネジメント
児童文化論
演劇「実技」Ⅰ・Ⅱ
英国研究入門Ⅰ・Ⅱ
米国研究入門Ⅰ・Ⅱ
オセアニア研究入門Ⅰ・Ⅱ
カナダ研究入門Ⅰ・Ⅱ
Topics in Oceanian Studies
Topics in Canadian Studies
英国文化実地研究
米国文化実地研究
オセアニア文化実地研究
カナダ文化実地研究
マレーシア文化実地研究(英語)
英国史概論Ⅰ・Ⅱ
History of the United StatesⅠ・Ⅱ
米国史概論Ⅰ・Ⅱ
米国政治論Ⅰ・Ⅱ
米国外交論Ⅰ・Ⅱ
米国経済論Ⅰ・Ⅱ
米国社会論Ⅰ・Ⅱ
英米法Ⅰ・Ⅱ
米国政治・外交研究特論Ⅰ・Ⅱ
米国社会史研究特論Ⅰ・Ⅱ
米国社会原書講読Ⅰ・Ⅱ
日米関係論Ⅰ・Ⅱ
アジア研究入門
中国社会事情Ⅰ・Ⅱ
中国史概論Ⅰ・Ⅱ
中国現代史Ⅰ・Ⅱ
中国経済概論Ⅰ・Ⅱ
中国政治外交概論Ⅰ・Ⅱ
中国社会研究Ⅰ・Ⅱ
中国経済研究Ⅰ・Ⅱ
中国政治外交研究Ⅰ・Ⅱ
海外華人論Ⅰ・Ⅱ
日中関係論Ⅰ・Ⅱ
韓国史概論Ⅰ・Ⅱ
日韓関係史Ⅰ・Ⅱ
韓国政治論Ⅰ・Ⅱ
韓国経済論Ⅰ・Ⅱ
韓国経済学特講Ⅰ・Ⅱ
韓国近代史Ⅰ・Ⅱ
韓国史特講Ⅰ・Ⅱ
インドネシア研究入門
インドネシアの歴史
インドネシアの宗教・社会
インドネシアの政治・経済Ⅰ・Ⅱ
ベトナム研究入門
ベトナムの歴史
ベトナムの宗教・社会

ベトナムの政治・経済Ⅰ・Ⅱ
タイ研究入門
タイの歴史
タイの宗教・社会
タイの政治・経済Ⅰ・Ⅱ
東南アジア研究入門Ⅰ・Ⅱ
東南アジア史Ⅰ・Ⅱ
東南アジア社会論Ⅰ・Ⅱ
東南アジア政治経済論Ⅰ・Ⅱ
イペロアメリカ研究入門
イペロアメリカの法と文化Ⅰ・Ⅱ
イペリア史概論Ⅰ・Ⅱ
現代イペリア研究Ⅰ・Ⅱ
現代ラテンアメリカ研究Ⅰ・Ⅱ
ラテンアメリカ史概論Ⅰ・Ⅱ
ラテンアメリカ政治論Ⅰ・Ⅱ
ラテンアメリカ経済論Ⅰ・Ⅱ
メキシコ研究Ⅰ・Ⅱ
ブラジル研究入門
ブラジルの民族・地理
ブラジルの歴史
ブラジルの政治・経済Ⅰ・Ⅱ
ポルトガル語圏の世界
国際社会が見えてくる
国際関係史Ⅰ・Ⅱ
国際関係論Ⅰ・Ⅱ
国際社会論Ⅰ・Ⅱ
国際経済論Ⅰ・Ⅱ
国際法Ⅰ・Ⅱ
国際機構論Ⅰ・Ⅱ
国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ
国際マーケティング論Ⅰ・Ⅱ
国際協力論Ⅰ・Ⅱ

※一部の科目は、所属する学科・専攻や学科・専攻指定コース、履修する課程などによって履修が制限される場合があります。

※開講科目は年度によって異なります。

国際平和論Ⅰ・Ⅱ
国際開発論Ⅰ・Ⅱ
The History of Modern Japan
The History of Premodern Japan
International Relations: Japan in the Asian Context
Japanese Politics
日本近代史
日本現代史
日本政治論Ⅰ・Ⅱ
日本経済論Ⅰ・Ⅱ
日本社会論Ⅰ・Ⅱ
日本外交史Ⅰ・Ⅱ
東アジア政治経済論Ⅰ・Ⅱ
ヨーロッパ政治経済論Ⅰ・Ⅱ
アフリカ研究入門Ⅰ・Ⅱ
地域研究
社会思想史Ⅰ・Ⅱ
現代国家論Ⅰ・Ⅱ
社会調査法Ⅰ・Ⅱ
環境科学Ⅰ・Ⅱ
企業研究Ⅰ・Ⅱ
簿記会計Ⅰ・Ⅱ
国際経営論Ⅰ・Ⅱ
マーケティングリサーチ
アントレプレナーシップ論
企業行動論Ⅰ・Ⅱ
企業財務Ⅰ・Ⅱ
民法概論Ⅰ・Ⅱ
商法概論Ⅰ・Ⅱ
米国契約法
法と国際ビジネス

【卒業要件】
本学では、卒業に必要な単位数を124単位としています。この124単位の中で学科・専攻及び各科目群、また各自が所属する学科・専攻指定コースで定められた単位数を満たさなければなりません。